

やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第25号 発行日：平成30年6月1日
 発行元 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター
 〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
 TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467
 発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり

NEXT10「コミュニティづくりのエンジン役に！」

人と人、人と団体、団体と団体のマッチングを・・・

麻生

市民交流館やまゆり
（以下やまゆり）を

管理運営している「あさお市民活動サポートセンター」は5月19日（土）に総会を実施し、活動を支援していただいている正会員の皆さまに、平成29年度の活動実績を報告し、平成30年度の活動内容を紹介させていただきました。

主な報告内容

- ① 平成29年度は、やまゆりが開館して10周年を迎え、「開館10周年記念報告会」において福田市長より感謝状の贈呈を受け、川崎市6番目の認定NPO法人として更なる活動を期待されました。
- ② 事務処理のIT化を推進し、特に先行予約制度については、事前に要望内容を伝えていただき、従来、一日かかった当日の業務を半減させ、利用登録団体の待ち時間を大幅に短縮し喜ばれました。
- ③ 平成30年度はNPO法人として10周年となり、「変化できるもののみ生き残れる！ 同じことを惰性で続けるのは...」という考えのもと、新しい10年を目指して「顧問制度の導入」「後援事業の新設」など体制強化を

④ さらに、30年度は利用登録団体に向け、活動に役立つ「パワーアップセミナー」、情報発信の強化・一元化を目指し「webちらしラック」の試行を進めます。

⑤ 区民記者が23年度から「あさおふれんず」で取材してきた活動団体を一挙紹介する冊子を制作。また区民視点で麻生区の歴史を振り返る「あさおの昔」を「やまゆりニュース」に随時掲載します。

かわさき総合計画第2期実施計画では「市民が、主体的に運営に参画して市民活動を支援する「やまゆり」を拠点としたコミュニティづくりの推進」（かわさき市政だより特別号2107）とあります。
 いままでの活動の実績をベースに、行政の期待を次の10年に向けて実現していきたいと考えております。



理事長 植木昌昭

麻生市民館やまゆり 稼働状況の推移

	会議室利用 (回数)	利用者数 (人数)	利用登録 (団体数)
平成20年度	1,141	16,821	421
平成21年度	1,347	18,897	466
：	：	：	：
平成29年度	2,189	20,400	659

平日の会議室利用状況は95%を超え、夜間利用・祝日利用が29年度は前年比10%アップ、利用登録団体数は650、利用者数は年間2万人前後と安定した数字を維持している



市長から感謝状が贈られた



サポートセンターの総会

目次

A あさおの昔

こんなに変わった
新百合ヶ丘駅前

P2

S ステキ女子の集い

女性の力で街を元気に

P2

A アミューズメント

あさおサークル祭
そこは探求心の集結するところ

P3

O お役立ち情報

「地域猫活動」猫のつばやき
しあわせだニヤン

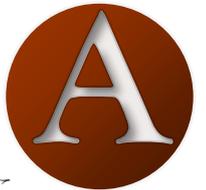
P3

● やまゆりからのお知らせ

平成30年度「地域」コミュニティ活動支援事業決定

P4





こんなに変わった新百合ヶ丘駅前



新百合ヶ丘駅は1974年に多摩線の開通に合わせて開業した。それまでの本線は今の麻生警察署あたりを迂回していたが、丘陵を切り開いて建設したため駅の周りは丘に囲まれていた。開業して10年ほどは構内への路線バスもなく、近隣の乗客は歩いてきて、2階の改札口まで階段を登って利用した。

その後、地元の地主が1977年に組合をつくり1984年までに駅周辺を造成した。今でいうと、東西は住宅展示場からスポーツセンターの奥、南北はマプレから世田谷通りまでの約46万㎡、東京ドーム10個分。現在の南口バスロータリーや駅前を取り巻く歩道のペDESTリアンデッキは完成したが、周辺はしばらくの間は空き地であった。

次に1992年にイトーヨーカ堂が開業し、1990年代にビブレ、オーパなどの大型商業施設などが次々と開業して現在の姿にいたった。施設などの建設は、土地利用区分のほか、植栽、色彩、屋外広告などの規約に基づいている。2016年の1日平均乗降客数は約13万人で、小田急線の全70駅のうち第9位である。



南口の右側(現オー・ピも左側(現ビブレ)も小高い丘であった(1974年頃)



左下から南口にのびる歩道がリリエンス通り
北口の区役所以外は空き地が目立つ(1984年頃)



現在の街並みから、昔の姿はうかがい知れない(2018年)

取材・文 区民記者 中島久幸

S ステキ女子の集い



大勢の来場者でにぎわった第2回メグリーナ

写真提供 よみ・ゆり女子部

「よみ・ゆり女子部」とは、その名の通り、読売ラウンド、百合ヶ丘の両エリアで店を構える女性オーナーの集まりだ。2016年の結成以来、女性の感覚を生かしたイベントを開いて街に新風を吹き込んでいる。

女性の力で街を元気に

よみ・ゆり女子部

「よみ・ゆり女子部」とは、その名の通り、読売ラウンド、百合ヶ丘の両エリアで店を構える女性オーナーの集まりだ。2016年の結成以来、女性の感覚を生かしたイベントを開いて街に新風を吹き込んでいる。

「女性だと組織が縦の関係にならない。だから代表もいません。それぞれが得意なことをやるんです。こういうのをやりたいねと話が出ると、じゃあ私はこれをやる、となつて話が早い。まだまだいろいろなポテンシャルを秘めていると思いますね」

女性グループならではの特長を語るのは、母とともにクラフト雑貨の店を営む鈴木絢子さん。息の合った結束がパワーの源なのだろう。6月には、「ふらつと新百合ヶ丘」と共催で第3回の「よみ・ゆりメグリーナ×えだぐり祭」を開く。そのほか、野菜をテーマとしたイベントも企画 중이다。

カフェ、レストランなど9店舗が加わる「女子部」。メンバー相互の交流を目的として発足したが、「街を元気にしたい」との思いから、地域の人々が気軽に集まれるイベントを開くようになった。その「よみ・ゆりメグリーナ」はこれまで2回開催。昨年5月の第2回は「食育」をテーマとして百合ヶ丘の公園に飲食や子どもワークショップなどのブースをおよそ30設け、1000人を超える来場者を集めた。このほか、地元産の野菜で各店が料理を競作した「大根祭り」「のらぼう菜祭り」も開いている。「この街を活性化したい」「地域に『お祭り』をつくりたい」という地元愛が、忙しい店舗経営のかたわらで活発な活動を続ける原動力だ。

DATA
よみ・ゆり女子部
参加店舗: ▽caféゆい〜と▽アジアンレストラン ムピリンゴ▽café Sante▽リビング カフェ サマンサ▽Ti-da Bar▽haru+ & Florist Saku Saku▽ワインショップ前田龍珠園▽陶器ギャラリー・隠れ家野菜たまり▽ちゅうりん庵
活動内容: 詳細はフェイスブック「よみ・ゆりmeguri-na」で検索)で。問い合わせは各店舗へ。
「第3回よみ・ゆりメグリーナ×えだぐり祭」
開催日時: 6月3日(日) 11~17時
開催場所: tvkハウジングプラザ新百合ヶ丘(麻生区万福寺)。このイベントの連絡先は「haru+」 ☎044-953-1676 harucafe05@gmail.com

取材・文 区民記者 佐藤 次郎



アミューズメント

あさおサークル祭 そこは探求心の集結するところ

28年前、教育委員会指導のもと、成人学級が実施され、講座終了後も10講座ほどの有志が活動を続けた。それが麻生市民館サークルの成り立ちである。

やがて、サークル間の連携・発展を図るために連絡会が誕生し、各サークルの成果を発表する場として「あさおサークル祭」が開催されるようになった。

今年6月2日(土)3日(日)に開催。美術展は6月1日(金)6日(水)(4日は休館)。市民館の大ホールでは和太鼓演奏、シャンソンと



しみじみとした情感に包まれる発表。祭りばやし、世代を超えたつながりを育んでいる

カンツォーネのコンサート、フラダンスショー。和室ではゆかたの着付け講習会。会議室では安来節、ギター、童謡、手話、笑いヨガなどと、毎年いろいろな催しが開かれ、市民館が丸ごとお祭り会場となる。



男の料理サークル。メンバーの腕前はさまざま。でも共同作業で美味完成!

今年度から麻生市民館サークル連絡会会長に就任した杉森正男さんは「趣向を凝らした発表・展示を、余すところなく観てもらいたい。観て食べて笑って一日過ごせるような賑やかなお祭をめざしたい」と話している。

「あさおサークル祭」は、発表の場であると同時に、新しい関心事へ皆さんを誘うところ。「これを見てみたい」「これならやれる」を見つけたら、チャレンジ&猛ダッシュ!

胸の内ですつとくすぶり続けている夢や、もうとくに胸の奥にしまい込んだ憧れに、今いちど灯をともしてみてはいかがだろうか。

麻生市民館サークル連絡会
☎044-951-1300(呼び出し)
※各団体の詳細は「サークル連絡会所属サークル一覧表」(市民館受付で配布)の連絡先へ直接問い合わせを。

取材・文 区民記者 落合ふみこ

お役立ち情報

「地域猫活動」 猫のつぶやき”しあわせだニヤン”

吾輩たちは、ここ麻生区のある地域に住んでいるニヤンたちである。この周辺には、畑や繁みがあり、お日様も燦燦と降り注ぎ、居心地がよい。

吾輩たち仲間10数匹は、ここで身を寄せ合って生きています。だが、世間でいう野良猫じゃない。やさしい近所の人たちから、ご飯をもらって、顔なじみになっている。

以前は、野放しだったから、毎年たくさん、子猫が生まれた。でも、1年ほど前から、近所のおばさんたちが、何やら動き出した。「猫が増えると困るわね」「何とか保護してあげたいね」と、ぼそぼそ話している。「きよせい、ひにん…」の声も聞こえてくる。

ある日、女の子の三毛ちゃんが捕まっ、どこかに連れて行かれた。戻って来たから、「どこに連れて行かれたの?」と聞いてみた。「白衣を着た人から注射をされて、いつの間にか眠っていた。何か、されたのかな?」と、不安げ。耳に桜の花びらみたいなカットがされている。

どうも「処置済」の印らしい。その後も、仲間が次々に捕まった。ついに、吾輩も捕まって、無事に戻っては来たけれど、心も

身体も何か変。この春は、かわいい子を見てもソワソワ感がない。

この数カ月、おばさんたちと吾輩たちは追いかけてこだった。頑張ったおばさんたちは、いまはホッとしたやさしい表情。吾輩たちは、そういうおばさんたちが大好きだニヤン。

最近、複雑な「野良猫問題」を少しでも解消しようと、地域住民が餌を与え、不妊・去勢手術の繁殖抑制の措置をとるなど、地域で適切に管理する「地域猫活動」が広がっている。川崎市では、猫の適正飼養ガイドラインの策定や不妊去勢手術費用の一部補助を実施して、「地域猫活動」の普及啓発を行っている。

活動には近隣住民の理解と協力が欠かせないが、まだ十分に理解を得ていないとはいえないようだ。だから、いまは、ニヤンたちの居場所を言えない。



助成金については、川崎市HPから「ねこの不妊及び去勢手術補助制度」を参照

取材・文 区民記者 石崎純也

平成30年度「地域コミュニティ活動支援事業」決定

平成30年度の地域コミュニティ活動支援事業の団体は下記5団体です

「団体名」 事業名 & 内容



「おもちゃと遊びの会」 おもちゃと遊びで世代間コミュニケーション！！

おもちゃ作りと遊びを通して、子どもから大人までの世代間を超えたコミュニケーション作りを図り、これを地域の人々に広めていきます。

また「木育」活動を通じて、子どもたちに「木」の持つぬくもりや優しさを伝え、そこから自然に対する心を育みます。さらに、伝統的な遊びや表現遊びに触れ合う機会をより多くの人々に提供し、遊びの大切さやその有効性を伝えていきます。



「ふらっと新百合ヶ丘」 ふらっと親子で新百合ヶ丘を楽しもう！

新百合ヶ丘は利便性がよく、お出かけも新宿や横浜へすぐ出かけることができるため、日常生活だけでは、麻生区に住んでいてもなかなか街と繋がることが少ない現状があります。街を好きになるためには、まず自分の街を知ること。

麻生区、近郊に住む街の方や農家の方に教えて頂きながら、親子で楽しめるワークショップやイベントを通して農育・食育を育むことも大切に、街の魅力を再発見していきます。



「平和を願う会」 平和を願い、実現するための集い

麻生区の住民、とりわけ子どもたちに、平和の尊さを伝え、平和を維持することに立ち向かっていく若者たちが生まれればと思います。

とりわけ、生存している被ばく体験者の話を、直接、若者たちに伝え、核兵器のない世界を創ることの大切さを共有したい。



「音楽で笑顔！プロジェクト」 音楽で繋がろう！輝こう！

家にこもりがちな高齢者や、介護する人・介護を必要としている人が、「音楽をきっかけに地域の人たちとつながる」場づくりをする。

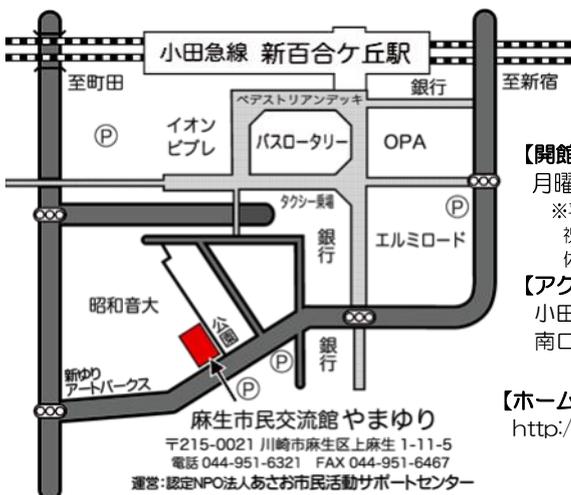
音楽が持っている力（ストレス軽減、リラックス、情緒の安定など）を利用して、生きていることを実感していただき、その人らしさを引き出して、笑顔でその人らしく暮らしていけるようにする。



「スマレふれんず」 オレンジ・リングでつなぐ！認知症ケア・ステージ

高齢化による認知症は深刻な社会問題となっている。四人に一人が罹る認知症も初期の軽度の段階なら押さえ遅らせることが可能といわれる。

一番有効な対策は心と頭の働きを活発にすること。認知症への理解と看護予防の啓発をステージで発信する。高齢者自らが歌い、踊り、芝居を演じることで、心を元気に！！



【開館日】
月曜～金曜 9時30分～17時
※平日の夜間、土曜・日曜、
祝日も予約すれば利用可。
休館：年末年始、施設点検日

【アクセス】
小田急線「新百合ヶ丘駅」
南口から徒歩4分

【ホームページ】
<http://web-asao.jp/yamayuri/>

あさお区民記者

区民による、区民のための
情報発信を目的に活動。

区民記者は「やまゆりニュース」掲載記事の企画構成・取材撮影を担当しています。過去の取材記事はホームページに掲載しています。

<http://www.asao-ku.net/yamayuri-news.html>

●区民記者&サポートメンバー募集中！

詳しくは info@asao-ku.net に

お問い合わせください